文芸きくち

ぶんげいきくち

肥後狂句桜会　10月例会

ひざまずき　票のたまなら土下座で　**光堀　善教**
も
ええ気色　奈良漬けやつが酔わせと　**上村　○子**
る
そうだろう　ほんな夫婦じゃ無ァ如　**小川　繁美**
たる
ひざまずき　自然薯の穴のぞきよる　**狩野　本六**
期限切れ　知ったら腹の痛となった　**窪田　明徳**

肥後狂句水笑会　10月例会

夜の長さ　いっちょパートを増やそ　**宮上　美由**
うか
離婚式　どぎゃん式じゃろ見てみた　**中島　五女**
か
そそくって　何んとかまとめ上げら　**吉岡　三水**
した
そそくって　大事にしとるもらい物　**平井　江彩**
なしだろか　舞台に上がりゃ皆おら　**柏原　乗仏**
ん

泗水短歌会　10月詠草

野牡丹のむらさき鮮し夕暮れを秋の　**高藤タツノ**
一日を惜しむがに咲く
雀らは夜明けを待ちてドォーと下り　**中山　定子**
命つなぐと稲穂に寄り来

クーラーの不用の眠り心地良し朝の　**大島　きと**
冷えに布団引き寄す
生きゆけば生きゆく為の罪づくり草　**福原美智子**
木も虫も鳥もするなり
庭先に白萩次々咲きこぼれ栗の実の　**平嶋きくえ**
はぜて充分の秋

七城短歌会　10月詠草

こがね色の稲田見守り畦に立つ案山　**森　道子**
子に一声さよなら言いぬ
かぶりゐる帽子のあごひもたしかめ　**高木　精**
て五橋めぐりの船に乗りこむ
彼岸花さやりて幼な日にかぶれたり　**池田カツ子**
八十路の今も触れる事なき
手の骨を折りしに仕舞いし銭太鼓揺　**木下　陽子**
すぶり叩くも調子にのれず
彼岸花なべて朱に咲き連らなるは舅　**岩津　涼子**
が植えにし庭の華やぐ

高齢者大学　10月歌会

百日紅とよくも名づけしさるすべり　**氏岡　百枝**
長く咲きゐてわれを慰む
捨てる勇気持ちつつ衣替へなすも処　**山代　静子**
分しかぬるスーツ二、三着

母に無きはるかな齢いただきて秋の　**岩木タエ子**
彼岸会また母を恋ふ
虫干しの亡夫の移り香も消え果て樟　**岡本　トシ**
脳強く匂へり
病む夫に合はせ休みし敬老会衣桁に　**山田　弘子**
わびし踊りの衣装

旭志文芸俳句会　10月詠草

稲の花祖先の田畑守り来て　**水谷　ミネ**
朝焼けて阿蘇紅く染む秋日かな　**中尾ヨシコ**
息子(こ)が建てし小屋に真向ひ今朝の秋　**東　芳子**
わだかまり解(ほぐ)れし夜半に虫の声　**芹川のり子**
久闊のコスモスの郷土(さと)阿蘇望む　**芹川　蓉子**

せせらぎ俳句会　10月例会

茹栗や茶を入れくれる嫁のゐて　**村山　数恵**
配送者秋の落日を積み残し　**五丁　義昭**
落葉焚く煙ひとすじ茜雲　**寺本　和子**
風吹けばコスモス揺れて人の声　**藤本アツ子**
透明な色をまとひし秋の風　**渡邊　一史**

万句の里俳句会　10月句会

木犀(もくせい)に曳(ひ)かれて今朝も回り道　**稲田　羚子**
晴れわたる空より小鳥降るごとく　**梅田　昭子**
蕎麦(そば)の花海遠ければ海のごと　**光本とよいち**
大枯野(おおかれの)ゆっくり雲の影移る　**小山　照子**
天日(てんじつ)に枝さし延べて返り花　**田中　美智**

図書だより

としょだより

問い合わせ先

泗水図書館	☎0968（38）6866
中央公民館図書室	☎0968（25）1672
七城公民館図書室	☎0968（25）1580
旭志公民館図書室	☎0968（37）3111 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館	月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室	火曜日・第1日曜日・祝日
七城公民館図書室	日曜日・祝日
旭志公民館図書室	日曜日・祝日

2010 国民読書年

これは「国民読書年」のロゴマークです。
国が読書に対する国民意識を高めようと、2010年を「国民読書年」と定め、いろんな取り組みを進めています。
この機会に読書をしましょう。

※図書のイベント情報は、28ページの行事予定へ掲載しています。

新着・お薦め図書

泗水図書館

ツリーハウス	角田光代	著
オルゴォル	朱川湊人	著
灰色の虹	貫井徳郎	著
ほかげ橋夕景	山本一力	著
わたしは英国王に給仕した	ボフミル・フラバル	著
ひぐれのラッパ	安房直子	著
かげ	スージー・リー	著
うさぎがそらをなめました	黒井　健	絵

中央公民館図書室

地域再生	豊重哲郎	著
高峰秀子の流儀	斎藤明美	著
あんちゃん	北原亞以子	著
キング＆クイーン	柳　広司	著
昔のくらしの道具事典	小林　克	監修

七城公民館図書室

砂の上のあなた	白石一文	著
いちばんあいされてるのはぼく	宮西達也	著

旭志公民館図書室

働くアンナの一人っ子介護	萩野アンナ	著
ちか100かいだてのいえ	いわいとしお	著

アジアの昔話

アジア地域共同出版計画会議　企画
松岡享子　訳

この本の編集に当たられたインドのラオ婦人が、この本が完成した時、「昔話は、どれも土と水の匂いがし、肌の色や着ているものは違っても、心臓が同じように脈打ち、心臓から押し出される血が同じように赤く、暖かいように土と水はどこの国でも同じです」と述べています。泗水町は平成5年に「手作り図書館パイロット地区」の指定を受けました。その時わたしは、その運動の実行委員の委嘱を受け、研修を重ねて行くたびに「子どもの心を育てる読み聞かせや語り」のボランティアを思いつき、周囲に呼びかけ、賛同を得て、「しすいっ子童話会」を発足しました。発足後、18年目になりますが、わたしは「泗水町の民話」を語り継ぐことを主にやって来ました。これからも会員全員で「初心を忘れず」を合言葉に、聞き手とのふれ合いの中で自分たちを磨いていければと思っています。

五丁スミ子さん
（泗　久米二）

プロムナード

道尾秀介　著（ポプラ社）

作家になるまでの道程や好きな映画や小説などを語ったエッセイ54篇を中心に、初めて描いた絵本や戯曲なども収録。作家の謎に満ちた私生活をユーモアたっぷりに綴った一冊。（中央）

神様のカルテ２

夏川草介　著（小学館）

本庄病院の内科に一止の大学の同窓・進藤が赴任してきた。けれど進藤の医師としての行動はかつての姿からは想像もできないものだった。個性豊かな登場人物たちが織りなすいのちの物語。（七城）

耳より情報

年末・年始の閉室日・休館日

年末年始のお休みは次の通りです。

中央公民館図書室
12月28日(火)～平成23年1月4日(火)

七城公民館・旭志公民館図書室
12月29日(水)～平成23年1月3日(月)

泗水図書館
12月27日(月)～平成23年1月4日(火)